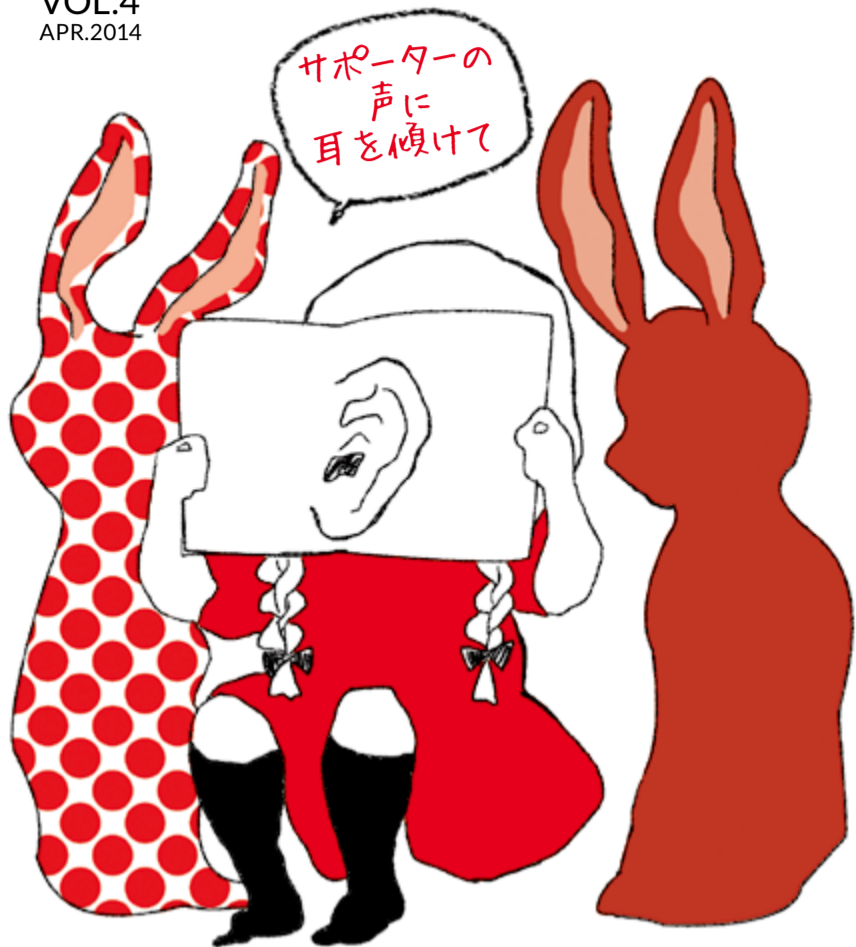


# ヨコトリーツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー Yoko-Treats!

VOL.4  
APR.2014



「ヨコトリーツ! (Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「Hama-Treats!」による手作りのフリーペーパーです。「トリーツ/Treats」には、「思わず喜び、とてもいいもの」という意味があります。横浜のいいもの、楽しいものをお伝えしたい! ということで名付けました。ハロウィンの決まり文句「Trick or Treat!」(「トリック オアトリート!」=お菓子をくれなきゃイタズラするぞ!)から連想して、みんながワクワクするような情報交換の場を目指しています。

### ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」

会期: 2014年8月1日(金)~11月3日(月・祝) | 会場: 横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)  
アーティストティック・ディレクター: 森村泰昌  
ヨコハマトリエンナーレ2014公式WEBサイト <http://www.yokohamatriennale.jp/>

## サポーターの皆さんから 教えられたこと

今年三月に開催されたトリエンナーレ学校では、サポーターチームの皆さんから「こんなことがやりたい」「こういうのがあったらいいな」と、じつじつと皆さんの提案をいただいた。愛情にあふれた、あるいは楽しい内容ばかりで、アーティストティック・ディレクターの私としては「パンパンやっぺんっぺん」とおおいに後押ししたい気分になった。

サポーターチームの思いは、私のみならず、その日会場にいられた多くの皆さんにも伝わった。フレゼンテーションをがんばってやってくれた皆さんに感謝。ありがとうございます。

フレゼンが一通り終わったあとで意見を求められた私は、「なにがそんなにあなたがたを熱くさせるのか」と質問した。ヨコトリーツへの熱い思いをお聞きして、いったいなにがそうさせるのか、ぜひこの機会に

を聞いておきたかったのである。芸術が好きなのだ。おもてなしに興味があるのだ。子供の美術教育をやりたいのだ。横浜という街を愛しているのだ。理由は様々だ。しかし共通していたのは、ヨコトリーツを通じて生まれる多くの出会いが、思った以上に各人の貴重な人生体験となっていくのだ。

芸術家との出会い、来場者との出会い、街の人との出会い、そしてサポーター間同士の出会い。芸術表現の場が生み出すそうした交流の醍醐味を、もしかしたらサポーターの皆さんが一番よく感じ取っておられるのかもしれない。ホント、熱かった。

その熱い思いを受けとめて、期待に添えるヨコトリーツ2014にしなればと、私自身もあらためて気を引き締めて、開幕に向けてアクセルをさらに踏み込むことにしよう。サポーターの皆さん、ヨコトリーツを一緒に

### Morimura Yasumasa 森村泰昌



©Morimura Yasumasa + ROJIAN

【森村泰昌 プロフィール】1951年、大阪市生まれ、同市在住。京都市立芸術大学美術学部卒業、専攻科修了。1985年、ゴッホの自画像に扮したセルフポートレート写真を発表。以後、一貫して「自画像的作品」をテーマに、美術史上の名画や往年の映画女優、20世紀の偉人たちなどに扮した写真や映像作品を制作している。ヨコハマトリエンナーレ2014アーティストティック・ディレクター。

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー「ヨコトリーツ!」VOL.4 ●企画編集: 横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats! フリーペーパー(青木邦彦/上田良寛/漆原美由紀/江藤真央/大澤歩/小林千美/齊藤照子/深野一穂/山田崇之) ●カバーアート: 小林千美 ●紙面デザイン: 山田崇之 ●編集アドバイザー: 藤原ちから ●発行日2014年4月22日 ●発行元: お問合せ: 横浜トリエンナーレサポーター事務局 [横浜市中区日ノ出町2-158 黄金町エリアマネジメントセンター内] TEL: 045-325-8654 ●横浜トリエンナーレサポーター公式WEBサイト <http://www.yokotorisup.com>

次号予告 **ヨコトリーツ! が変わります!** ヨコトリ2014や横浜の魅力をもっと伝えられるようリニューアル! 6月中旬発行予定

### 横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats! 5チームの活動報告!

#### イベント・企画チーム

ヨコトリを盛り上げるあんなこと、こんなこと。桜まつりを終えて一段落付く暇もなく……次のイベントに向けあんなことやこんなことを企画中! 私も未っ子メンバーとして、ハマトリーツ!でとても貴重な経験をしています。相変わらず猫の手も借りたいような状況……でも企画チームは今日も元気いっぱい☆今後の活動もcheck it out☆(小林)

#### LOGBOOKチーム

4/27、横浜美術館前広場で待ってます! LOGBOOKとは、まちを海に見立てて航海する作品です。私たちはこのLOGBOOKをヨコトリに運用しています。現在は、4/27の100日前カウントダウンイベントでの実施のため進進中! 記憶や時間が交差するフシギな体験をしませんか?(横井)

#### こどもアートチーム

こども×アートでみんなが楽しいワークショップなど企画中! こどもたちがアートを身近に感じられるように、こどもが楽しめる企画を考えて実践するグループです。本展に向けたオリジナルワークショップの準備もいよいよスタート! みんなで役割分担してこどもと一緒に楽しめる企画を進めています。興味がある方はぜひ一緒にやってみませんか?(伊神)

#### フリペチーム

バラエティある紙面を目指して、変わります! 6月発行の次号からいよいよ月刊化。今までと構成を変え、ヨコトリ情報、横浜紹介など、バラエティのある紙面を目指します。各記事ももっと個性あふれるものを集めたい! ということで、参加メンバーを大々的に募集中です。伝えたいヨコハマがある、アートに関わりたい、そんな方はぜひご参加ください。(上田)

#### デザインチーム

サポーター活動を魅力的に伝えるために「デザイン」という魔法を使って、サポーター活動を視覚的にわかりやすく、また魅力的に伝える活動をしています。大岡川さくら祭りでは、パッケージデザインや看板づくりを行いました。今後も本展に向けての準備が盛りだくさん! 経験や技術は問いません。やる気があればOK! ぜひご参加ください。(伊藤)

### まじなピッ



<http://maoeto.tumblr.com>

横浜トリエンナーレサポーター「Hama-Treats! (ハマトリーツ!)」は、課外活動として5つのチームに分かれて活動中です。興味を持った方誰でも参加できますよ!

横浜トリエンナーレサポーター「Hama-Treats!」公式WEBサイト

<http://www.yokotorisup.com>

### ヨコトリサポーターの愛称「Hama-Treats!」のロゴマークが決定しました!

横浜トリエンナーレのもとに集まった、年齢も肩書きもバラバラなHama-Treats! (ハマトリーツ!)のメンバーたち。さまざま「人」が集まって起こす「さざ波」は、いずれ世界を動かすビッグウェーブへと変化するかもしれません。横浜の海を象徴する「さざ波」をHama-Treats!の原動力である「人」の形で作り上げたこのロゴマークは、これからのサポーターの活動をより盛り上げるでしょう!

このロゴマークはサポーター活動に関する利用やオリジナルグッズの制作など、様々な展開を予定しております! お楽しみに!!

サポーターの愛称が「Hama-Treats! (ハマトリーツ!)」に決定してからの企画第一弾イベントは……

### ヨコハマトリエンナーレ2014開催まであと100日! カウントダウンイベント

3年に1度、世界の現代アートが横浜に集結!  
ヨコハマトリエンナーレ2014  
開催100日前カウントダウンイベント

いよいよヨコトリ2014開催まで、残すところあと100日に迫ろうとしています。今回のイベントでは、LOGBOOKを通してまちの新しい楽しみ方を提案します。私達Hama-Treats! と「logbook; 航海日誌」を持って横浜のまちを冒険しましょう! たくさんの参加をお待ちしております!

**2014 4/27 [日] 11:00~17:00**  
横浜美術館前 (参加無料)  
横浜美術館前に集合後、MARK IS みなとみらい、ランドマークプラザなど、MM21地区を巡ります。

## TRIENNALE SCHOOL 2014

vol.1

5/21 (水)

《講師》  
トヨダヒトシ  
【写真家】  
・ヨコハマトリエンナーレ 2014 参加作家!

トリエンナーレ学校 2014 時間: 19:00~21:00 (開場 18:30)  
www.yokotorisup.com 場所: ヨコハマ創造都市センター 3F スペース  
参加は HP からお申込み下さい 参加費: 無料



# サポーターの声に耳を傾けて

全登録者数は1,267名\*にのぼる横浜トリエンナーレサポーター“ハマトリーツ”。トリエンナーレ学校やチーム活動に加え、プログラム活動も動き始め、積極的に活動に参加される方も次第に増えてきました。ヨコハマトリエンナーレ2014の開催まであと100日と迫り、あらためてサポーターのみなさんの声を聞いてみよう、活動内やメーリングリストを通じてアンケートを実施しました。その結果から、サポーター活動のさらなる活性化につながるヒントが見つかるかもしれません。(青木/上田/深野/山田) ※平成26年3月末日現在公表人数

## アンケート実施概要

横浜トリエンナーレサポーター“ハマトリーツ” フリベチーム独自のアンケートとして2回に分けて実施した。質問内容は一部異なる部分がある。  
① 2014年3月9日チーム活動参加者(対象者29名)に対して: アンケート用紙(A4裏表)配布、その場で回収。  
② サポーターメーリングリストメンバー(対象1,000名 上記回答済含む)に対して2014年3月22日依頼メールを発信した。回答は(A)メールへの返信、(B)Googleフォームへの入力を選択してもらった。最終締切は4月3日。回収数は①23、②(A) 14、②(B) 46の合計 83。

## サポーターってどんな人たち?

男女比、年代、居住地、ボランティア経験の有無をまとめました。

図1 どんなところから参加しているの?

居住地域(単位:人)

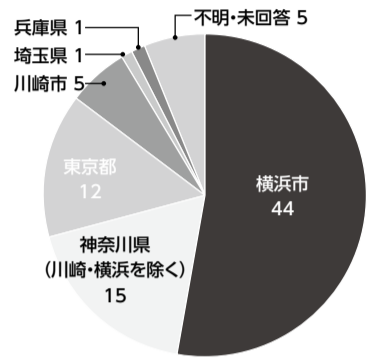


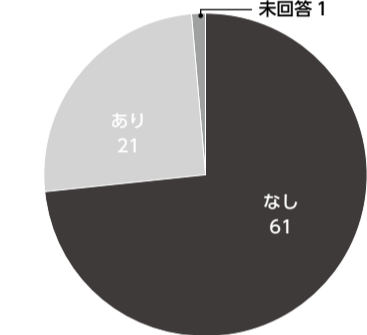
図2 何歳ぐらい? 男女比は?

年齢男女構成比(単位:人)

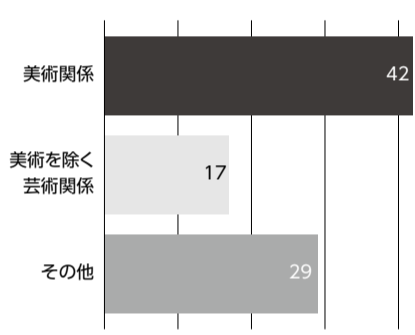


図3 みんなボランティア慣れしてる?

a: ボランティア経験(単位:人)



b: 経験したボランティアの種類(複数回答/単位:人)



## サポーターの意識は?

サポーターメーリングリストには1,000人のサポーターが登録されています。これは前回展の準備期間から積み重ねてきた登録総数です。

回答の中で「前回サポーターの登録をしたけれど、今回は登録をしていない。メールが送られてきているということは、もう、登録の必要がないのかどうか?」

自分がサポーターなのかどうか? (50代女性)」という声を頂きました。

前回のトリエンナーレでサポーターとして活動してもその会期が終わったあとはサポーターとして意識していない方もいらっしゃいます。結果的にサポーターとは何かということがわかりにくくなっていることが、本アンケートの回収率の少なさの原因のひとつなのかもしれない、ということに気づかされました。

## 活動に満足していますか?

満足度を、チーム活動に所属している人とそうでない人で分けて示します(図4)。

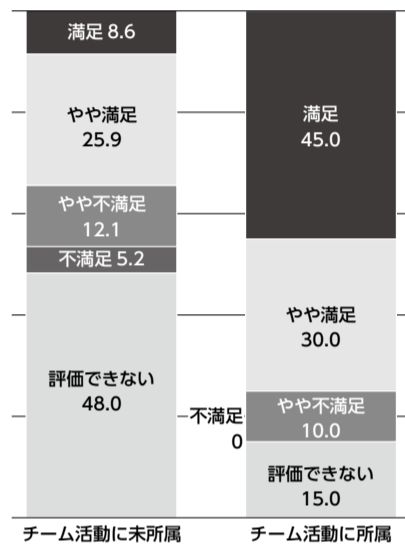
どちらも「満足」の人の方が高いのですが、その比率はチームに所属してアクティブに活動している人のほうが高くなっています。

肯定的意見としては「アートに関する色々な人と知り合えた(10代男性)」「行きたい時だけ行ける環境がありがたい(20代男性)」「コミュニケーションも充実、自分の考えも主張でき、子供とも接してる(20代女性)」といった声がありました。

一方、否定的な意見として「殆ど参加出来ない(50代男性)」「登録したあと、どうすればいいかわからない(60代男性)」などの意見もありました。参加への敷居が高いという印象を持たれている方もいるのかもしれない。実際は気軽に参加できる活動だということをもっと伝えることも課題といえそうです。

図4 活動に満足していますか?

(単位:%)



## 私はここで頑張りたい!

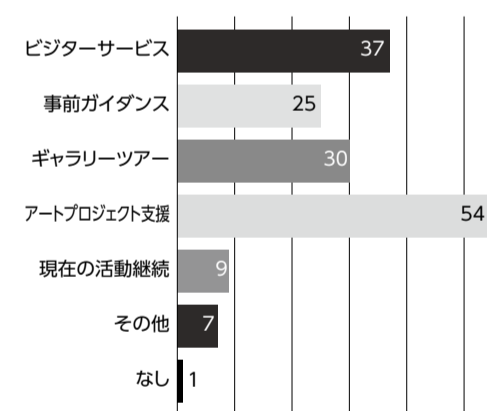
サポーター活動にはチーム活動とプログラム活動があります(参考欄参照)が、そのなかで「トリエンナーレ開催期間中にやってみたい活動は何ですか?」という質問に対する回答を図5に示します。

なお、「現在の活動継続」の回答数が9と低くなっていますが、これは、3月9日課外活動におけるアンケートでは回答の選択肢に入っていなかったためです。

最も多いのは、「アートプロジェクト支援」です。自由記述欄には「特別な技量や知識がなくても作家さんの心象に意気を感じ、身も心も没入できるようなお手伝いがあれば、ぜひ参加したい(60代男性)」という意見もありました。こんな声が、サポーター参加での制作を想定しているアーティストに届くといいのですが……。また「その他」で得られた回答としては、「作品監視」(2件)、「会場を見たこと、経験したこ

図5 本展で参加したい活動は?

(複数回答/単位:人)



とのレポート」「ギャラリーガイドや子ども向けのワークショップ」などといった声もありました。

## こんな活動はどう?

自由記述欄には次のようなアイデアも……。

「サポーター・アーティストも含めた「溜まり場」的な場所で、観客とも交流できたら良い(50代男性)」「運営本部が気がつかない宣伝。ポスターを関東圏以外に撒くとか、華氏451度の帯をデザインして早川書房に売り込むとか(30代男性)」「聴覚に障がいのある方へのサービス、手話での案内や冊子は有用なのは?(40

代女性)」「サポーター活動のスポンサー協力企業等の開拓や、取り上げてくれるメディア探しに携わる(40代男性)」「ウェブサイト関連の運営があればやってみたい(40代女性)」「ヨコトリ全体の文筆活動、サポーター目線での作品/会場/会場近辺の見どころ紹介(40代女性)」「サポーター活動も開催年だけでなく、継続しつつ新しい仲間を増やせる環境があると良い(40代女性)」 サポーターの力で実現できそうなことはチャレンジしてみたいですね!

## 活動は楽しい!

サポーター同士の交流、自主的な活動、活動そのものの充実感が楽しさの源泉のようです。こんな声をいただきました。

「みんなが仲良く楽しく活動している(20代男性)」「参加出来て、勉強も出来て、満足している(40代男性)」「間接的ながらもヨコトリ2014に、参加しているといった感覚が得られており、更に盛り上げていこうという機運に燃えている(60代男性)」「あいちトリエンナーレ遠足に参加してよかった(60代男性)」「このような場でしか出会うことのない多くの人と関わることが出来るので、とても刺激的だと思います(20代女性)」「200日前カウントダウンのイベントは面白そうで



200日前カウントダウンイベントの様子

した(50代女性)」「自分たちでアイデア出して動ける(30代男性)」「色々な才能を持った人が集まってアウトプットを出している現場で自分も関わっていることがうれしい(50代男性)」

## 参考 サポーターの活動の場はさまざまにあります

サポーターが活動できる領域は2つに分類できる。ひとつはサポーターが主体となって活動するチーム活動で、現在既に動いているが、常に参加者を募集している。もうひとつは本展中に展開される5つのプログラムに参加することである。これはヨコハマトリエンナーレ

2014開催中の活動が中心になるが、事前に勉強が必要のため既に募集がかかっているものがある。サポーター主体のおもてなしプロジェクトも、ビジターセンター運営の準備として活動を行っている。各種活動の情報は、サポーター公式WEBサイトで入手!

ヨコハマトリエンナーレ 2014	期間前	期間中	期間後
イベント・企画チーム	各種イベント企画・実施 ▲300日前カウントダウンイベント! ▲200日前カウントダウンイベント! ▲100日前カウントダウンイベント!	活動継続	次回展までの活動を検討
LOGBOOK チーム	LOGBOOK実践・本展での計画	観覧者向けLOGBOOK実施	
こどもアートチーム	本展での企画立案・リハーサル	観覧者向け企画実施	
フリベチーム	フリーペーパー発行	活動継続	
デザインチーム	各種ビジュアル空間デザイン制作	活動継続	
おもてなしプロジェクト	おもてなし計画	ビジターセンター運営	
団体鑑賞者への事前ガイダンス	勉強会	事前ガイダンス	
サポーターによるギャラリーツアー	勉強会	ギャラリーツアー	
本展アートプロジェクト支援		参加作家のプロジェクト支援	
こどものための教育プログラム運営支援	事前準備	こどものための教育プログラム	

## 今後の情報発信について

記述式回答で最も目立ったのは、情報が少ないことを訴える声でした。

たとえば「サポーター活動に関する情報がすくない(20代女性)」「活動チーム内の連絡は活発と思うが、チーム間の情報交換がチーム活動に限定されているように思う(50代男性)」「イベント告知が遅い(30代女性)」などです。そして「ウェブページの「サポーターとは」をもう

少し現活動を反映した内容に更新して欲しい。活動の雰囲気伝える課外活動やトリエンナーレ学校の動画もあるといいのでは?(40代男性)」という意見は、その解決方法のヒントとも捉えられましょう。また、「イベント等カレンダーありますか?」という声も。 サポーター活動の現在と今後を伝える情報発信がもっと求められているようです。